

# 保育園自己評価表

平成29年度  
新生第一保育園

## 運営管理

1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	A (B) C D E
2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	A (B) C D E
3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A (B) C D E

## 守秘義務

1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	(A) B C D E
2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A) B C D E

## 安全・危機管理

1	事故災害時の対応を職員が周知している	A B (C) D E
2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	A B (C) D E
3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	A B (C) D E
4	園内の施設整備・遊具等の安全点検は定期的実施している	A (B) C D E

## 保育環境

1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	A B C (D) E
2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	A B (C) D E
3	保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	A B (C) D E
4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	A (B) C D E

# 保育園自己評価表

平成29年度  
新生第一保育園

## 健康管理・衛生

1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は保護者に伝達され保育に反映されている	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
2	日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	<input checked="" type="radio"/> A B C D E
4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A B <input checked="" type="radio"/> C D E

## 保育内容

1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	<input checked="" type="radio"/> A B C D E
2	園児に分かりやすい温かな言葉使いで穏やかに話している	A B C <input checked="" type="radio"/> D E
3	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家族と連携して状況に応じて対応している	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	A B <input checked="" type="radio"/> C D E
5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	A B <input checked="" type="radio"/> C D E
6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	A B <input checked="" type="radio"/> C D E

## 食育

1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A B <input checked="" type="radio"/> C D E
2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	A B <input checked="" type="radio"/> C D E
3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等に対応している	A <input checked="" type="radio"/> B C D E

# 保育園自己評価表

平成29年度  
 新生第一保育園

## 子育て支援・地域交流

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
2	虐待の早期発見に努めている	<input checked="" type="radio"/> A B C D E
3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A <input checked="" type="radio"/> B C D E
4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ態勢について、その意義や方針を全職員が理解している	A <input checked="" type="radio"/> B C D E

- 評価
- A・・・理想的な状態、達成できている状態
  - B・・・達成間近、取り組みなどを頑張っている状態
  - C・・・通常普通に行われている状態
  - D・・・頑張って取り組まなければいけない状態
  - E・・・ほとんど達成できていない状態

### <平成29年度の総合的な評価・反省>

- ・園外保育が悪天候や冬の時期にインフルエンザの流行により中止になることがあり、日程や代替場所の確保などが次年度の課題である。
- ・食育の一環で米作りを取り組んだが、満足できる程収穫が出来なかった。改めて食物を育てる難しさを実感した。食物を作る際の栄養、環境管理を充実するよう努める。
- ・子どもに対しての言葉かけが方言だったり、感情的な言葉だったりする保育士がみられたので、園児が理解するようなコーチングの言葉かけの教育、一人担任に対し問題を一人で抱えず周りが補助できる職場環境の改善に努める。
- ・伝達事項などで受け取り方の解釈の違いでトラブルが起きた例があり、信頼関係や報・連・相の必要性が反省点であり、個々相手への伝え方や話し方の向上と伝わったかどうかの確認。互いに話しやすいようにする環境作りが今後の課題である。
- ・災害訓練はマニュアルはあるが、近年多様化しており、マニュアル自体が今にあっていなく、把握していない職員もいたので、経験の浅い職員でも分かりやすいマニュアル作りが必要である。
- ・配慮が必要な子が年々増加傾向にあり、専門家の指導を受け、連携を図りながら個別対応を図ったが、対応が遅れることもあったので、より専門家や保護者との連携を高めていく必要がある。